

# 新入幼児をむかへて

及 川 ふ み

新入幼児を迎へてどこの幼稚園でも何となく希望に満ち、にぎやかな空気があふれております。

三月の末まで小さい組に居た人たちもしばらくの春の休みの間に急に大きくなつた様に見えます。

數十の新入幼児をむかへて受持の保母の骨のちれる事は並大抵のことではありません。先づ朝は少くとも幼児が一人も来てゐないうちに各部屋の掃除をすませまい／＼に登園して来る幼児たちを用意周到にむかへてあげなければなりません。

幼児は入園當座は幼稚園に来るのがうれしい様な又一面には何となしに不安な氣持になつてゐる様です。こんな氣持で幼稚園にきて見ると昨日

と同じ先生がにこ／＼顔に自分をむかへて下さる「さあいらつしやい、繪本ですか、ち砂遊びですか、と附添の人から受取つて下さる、そして遊びに誘つて下さるといふ様であると、いままでもつてゐた不安はどこへかいつて友達の仲間に入る事が出来るのであります。

これと反對に昨日は何となしに不安で女中から離れなかつた幼児も今日は一つ先生と遊んで見やうと奮發して、幼稚園にやつて來ると昨日の先生のお姿が見えない、がつかりして又その日も附添人の手の中に居るといふ事になります、幼稚園になれた幼児にも保母が早くに幼稚園にきてゐる事

は勿論大切なことでありますがことに新らしい幼児には先づ何よりも朝の最初の出発點が大切であります。

今日は二人今日は三人とだん／＼に幼児が保姆と遊べる様にするのはなか／＼の苦勞でありまして、はばかりへゆく暇もない位でいつも心もからだも幼児からはなれずびつたりと少しのすきもな／＼についてゐなければなりません。

少しなれてやつと幼児と保姆だけでお唱歌の一つ二つ歌へる様になりおはなしの一つ位きかせられる様になると今度はお辨當がはじまります。そうになると又一段と忙しくなります。一人／＼にご飯をよそひ分けたりおかづをほごしてあげたり切つてあげたりお茶をつけるといへ風でまるで眼のまわる忙しさです。保姆は幼児が全部かへつた後二時頃になつてはじめて晝の食事をとるといふ様であります。

それに比べて一ヶ年でも二ヶ年でも保育を受けた幼児は保姆の手からはなれて充分に遊ぶことが出来ますし保姆の方から申しまして小小さい組の保姆の様に細々と手のかゝる事は餘程へつてまゐります。それですから大きい組の幼児も保姆も新入幼児歓迎の意味からも亦小小さい組の受持保姆を助ける意味からも新入幼児を遊ばせたり又自ら面白く遊んで居るところを見せていかにも幼稚園でお友達同志で遊ぶ面白さを味はせ又澤山におぼえたお遊戯をして見せたり面白い唱歌を歌つてきかせたり又は簡単なおもちゃをこしらへてあげたりして小小さい組のお友達をよろこばせてあげなければなりません。

こんなにしますと自然のうち大きい組の幼児は小さい組のお友達を可愛がり又一方小さい組の幼児たちは大きいお友達をしたふといふ美しい感情もその間に流れる事と思はれます。そうして幼

幼稚園一體の空氣が自然の春と調和した和らなものとなりませう。

こんな意味から考へておもちゃ遊びはほんといよい遊びではないかと思はれます。それについて實際この遊びをやつて見た事について少し委しくかいて見ませう。

先づこのおもちゃ遊びをするのには一ヶ月とか一ヶ月半とか前からその仕事にかゝらねばなりません。幼稚園中のある組の幼児がおもちゃをかへてある組のものは賣れ切れになつて買へなかつたといふのでは可愛想ですし、又折角たのしみに待つたおもちゃがたつた一品だけしかかへなかつたといふ様でもあまりにあつけない事でありませうからおもちゃの品數は幼児に二三點づつも買はれる事と幼稚園全部の幼児にゆき渡る様にといふ二つ條の件のもとに少くとも全園幼児の二三倍の品數をつくらなければなりません。

この多くのおもちゃを造る事はこれを計畫する保姆も又これを作る幼児も面白いなにも又なか／＼の骨折であります。けれどもどんなに小さい幼児たちがこれを樂しみまするかは想像の外であります。この間も山の組でおもちゃ店が開かれ坐した時など前日幼稚園のお廊下や各組のお部屋へ開店のビラがはり出されました、翌日川の組のある幼児は風をひいてお母様はお休みをさせやうとなさると「今日は山の組のおもちゃやさんがあるからどうしてもゆきたい」と。とう／＼お母様にねだりしてまゐつた位です。

おもちゃの種類は色々で地方々々によつて考へてつくられると面白いものも出来る事と思ひますがよく私共のところで作りますものは

鞆 畫用紙やラシャ紙でつくつて肩から下げられる様に紙テープで紐をつける。

鞆にはクレオンで馬をかいいたり、きりがみの

模様などはりつけて飾をつける。

紙入 千代紙でつくつて兩端を毛糸でかざる。

落下傘 なるべく薄い紙質の強いものを繪具で

絞り模様や渦巻模様などつける、毛糸でも

りを吊す。

人形 頭は綿を心に入れて紙でつくり着物は千

代紙でつくる。

籠 織紙でつくる四方の端を折り立て、紙を細

長く切つてつるをつけます。

飛行機 紙でたゝむ（普通幼児がよくたゝんで

飛ばしてゐるもの）

自働車 畫用紙八ツ切一枚位で出来るもの（は

り合せて立體のもの）

フラック人形 昨年幼児の教育に掲載したもの

お面 畫用紙にキユビ、あかめ、桃太郎、犬

猿、うさぎ、金太郎など幼児になじみのある

ものを畫いて眼丈けあけて紐はゴム紐がよい

時計 畫用紙で小さい腕時計

風船 たゝみ紙でつくる。

ヤシロベ 茶色のふんどう豆やあを桐の實で

頭や手をつくり小さく紙の着物をさせる。

木刀 新聞紙でつくる

かぶと 普通のたゝみ紙のかぶとを大きくつく

つて幼児の頭へかぶれる位にする。

風車 普通に色紙の正方形のものを四角を切つ

て造るものや薄い細長い木の反對の兩端に小

さい色をつけてもつて走ればまわるもの。

いづれも幼児が一人で出来る簡單なものであり

ます、材料も數多く點數をつくるのでありますか

ら、なるべく廢物利用式にふだんの色紙の切りく

づや畫用紙のたちくずなども心がけてとつてお

てあまりこのために澤山の費用をかけない様にし

なければなりません。

この遊びの外に人形芝居なども大層幼児のよろ

こぶものでありますから新入幼児などはどんなに  
よろこぶことでせう。

最初の頃はお猿が一匹舞臺へきて普通のあとぎ  
ばなしをしてゐてさへもあもしろくさいてゐるの  
でありますから人形芝居と申しましてもごくく  
簡単なものでよいのであります。面倒な兒童劇の  
脚本よりも保姆が簡単なものを作つて人形も二三  
位ではじめは充分であります。

この外小さい音楽會をひらいたり、お遊戯の會  
なども面白いでせうし、又活動寫眞なども見せら  
れるところなど度々して見せればよろこびませ  
う。

x x x

x x x

### 櫻花爛漫

奈良七重七堂伽藍八重櫻

芭蕉

花の雲鐘は上野か淺草か

同

山櫻高く笑はゞちりぬべし

不角

大佛のうしろに花のさかりかな

路通

井の端の櫻あぶなし酒の酔

秋女

山の月花盗人を昭し給ふ

一茶

鳶の輪の崩れて入るや山櫻

丈草

歸るさの夕日櫻や胸に杖

巴人